



竜北中図書館通信



令和3年10月（文責：本田）

☆～本を読もう～ハロウィン大作戦

読書の秋になりました。図書委員会では、昨年大好評だった『ハロウィン大作戦』を今年も計画することにしました。

内容は、10月4日～8日の1週間、読書啓発として本を借りに来た人に、しおりをプレゼントします。先着60名までもらうことができます。ぜひ本を借りて、秋の夜長、読書の楽しさを味わってください。



☆2021・第75回読書週間(10月27日～11月9日)

～10月27日は『文字・活字文化の日』です～

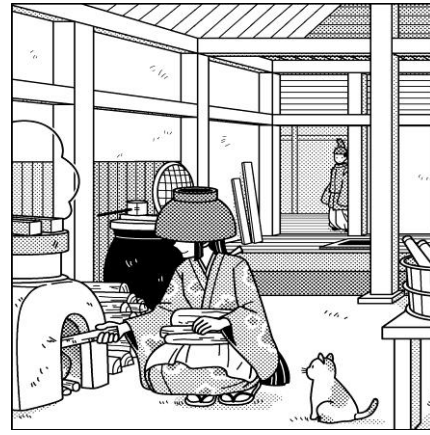
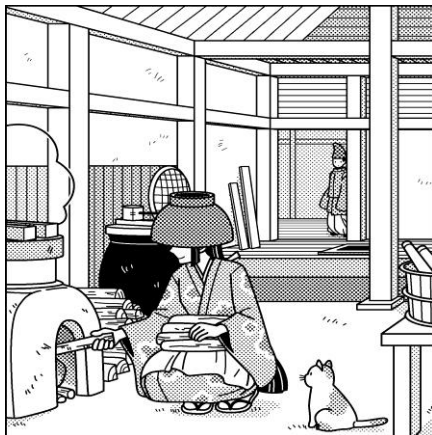
標語『最後の頁を閉じた 違う私がいた』

(作者のことば) 緑川 良子さん

没頭できる本に出会うと、読み終えてもすぐに現世に戻れません。しばらく宙に浮いたような感覚のあと、我に返っても、読む前とは確実になにかが変わっています。そんな出会いをいつも楽しみにしています。



鉢をかぶったむすめはみんなのつまはじき。けれども、おやしきのむすこは、まじめに働くむすめを気に入りました。下の2枚のイラストには5つのまちがいがあります。いくつ見つけられるかな？



答え：①天井の板の目 ②右中央・えぼし ③右下・猫のしっぽ ④中央下・姫のまきの数 ⑤左中央・ひしゃくの向き



よかったら、よんでみてね



『魂手形』

宮部 みゆき・作（角川書店）

江戸は神田三島町にある袋物屋の三島屋は、風変わりな百物語をしていることで知られている。

人々が一夜一間集まって怪談を披露するのではなく、語り手1人に聞き手も1人、一度にひとつの話を語ってもらって、その話は決して外には漏らさない。これが、三島屋の変わり百物語の趣向である。



『一人じゃないけど孤独じゃない』

～中2 病クリエイター、世界でバズる～

ケチャップ・(KADOKAWA)

Tik Tokでフォロワー190万人のクリエイター・ケチャップさんは、パニック障がいなど、なかなか理解されにくい病気や悩みをもっていました。

コロナ禍の中、人々は「普通」という価値観に悩まされていると感じ、自身のエッセイを動画で発信していきました。まずは自分と向き合い、自分を好きになってみましょう。



『カワイイけど実はアブナイヤツなんです』

ろう・著（KADOKAWA）

スローロリスは、お目々がくりくりでかわいいおサルさんです。名前の通り、動きもスローで癒やされます。

しかし、スローロリスは肘の内側から毒液を出して口の中の唾液と混ぜ合わせ敵に攻撃するそうです。毒を生成し、グルーミングして全身に塗り広げることで身をまもることもします。かわいいけど、ほ乳類で毒を使いこなすおサルさんです。



『好きのパワーは無限大』

ハラミちゃん・著（KADOKAWA）

テレビでも活躍のハラミちゃん。ハラミちゃんは絶対音感を持ちながらも、一度はプロの道をあきらめました。

挫折を味わいながらも、大好きなピアノを通して多くのことを学んでいきました。日頃から心がけていることは、“自分をカテゴライズしないこと”。生き方を狭めないように“好き”という気持ちに素直になっていくことで、世界を広げていきました。